シンポジウム

希望を蒔く人

―― アグロエコロジーへの誘い ――

アグロエコロジーの先駆者のひとりとして知られる農民作家・思想家：ピエール・ラビ。さまざまな社会層から、講演がひきもきらない彼の思想やアグロエコロジーのもつ意義、日本における可能性について、ラビに惹かれる３人が語る。

日時：2017年 9月30日（土）16時半～20時（開場16時）

場所：明治学院大学白金キャンパス本館 10階大会議場

主催：コモンズ

後援：アジア太平洋資料センター(PARC)、全国有機農業推進協議会、日本有機農業学会、明治学院大学国際平和研究所

資料代：700円　事前申し込み：不要
※明学関係者（学生・教職員）は無料

＜パネリスト＞

■ **勝俣 誠**（元・明治学院大学教員）

■ **ルロン 石原 ペネロープ**
（フランス国立東洋文化研究所 日本研究センター博士課程）

■ **辻 信一**（文化人類学者、明治学院大学国際学部教員）

ピエール・ラビ（Pierre Rabhi）について

1938 年、アルジェリア西部の小村ケナッサ生まれ。フランス国籍。21 歳のときに渡仏し、パリに住む。1961年に中南部のアルデシュ県に移住し、現在に至る。アグロエコロジーの先駆者のひとりとして知られる農民作家・思想家。1968 年の五月革命以降、研修生を受け入れ、農業技術に加えて、ライフスタイルや世界観も語るようになる。今日では、さまざまな社会層から講演がひきもきらない。邦訳に『良心的抵抗への呼びかけ――地球と人間のためのマニフェスト』（武藤剛史訳、四明書院、2015 年）。

お問い合わせ：コモンズ　TEL：03-5386-6972. e-mail：ooe@commonsonline.co.jp